

JP058 八郎潟 (はちろうがた)

秋田県：潟上市、男鹿市、三種町、大潟村、井川町、八郎潟町

| | |
|----|----------------------|
| 位置 | N 40° 00′ E 140° 00′ |
| 面積 | 20,000ha |

環境構成【河川／湖沼／水路／水田／草地／防風林／砂浜】

かつて汽水湖だった八郎潟は、東西 12 km、南北 27 km、湖水面積 22,024ha あって、琵琶湖に次ぐ日本第二の広い湖であった。食糧難解消のためコメの増産を目的に、1957 年から 1966 年にかけて干拓事業が行われ、水域の約 78%を陸地化した。中央が約 15,640ha と湖畔が約 1,560ha、合わせて約 17,200ha である。残りは南部を調整池に、外周を承水路にした。河口への蛇行した流れを短絡放水路に付け替え、防潮水門で日本海と遮断して淡水湖化したのである。

干拓地のほとんどが農地とその関連用地であり、防風林、大小の用水・排水路、道路が網目状に配置されている。農地は主に水田で、他に牧草地、畑地、耕作放棄地が混じる。

選定理由

| | |
|-------|-----------------|
| A1 | オオセッカ |
| A3 | オオセッカ |
| A4i | マガン・ヒシクイ・コハクチョウ |
| A4iii | マガン |

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10 パーセント未満）である

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（大潟草原）

<その他>

東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ参加地

保全への脅威

- ・ブラックバスを釣る人による水鳥生息域の攪乱とごみ・汚物の投棄が年々増大中
- ・狩猟期間中の猟銃による捕獲・誤射、有害鳥扱いの駆除
- ・一部地域の農薬空中散布
- ・松枯れ被害の進行と伐採、水質汚濁

保全活動

- ・環境教育活動：

内容：小学生を対象とした愛鳥学習会（秋田県）

自然観察会、講演会、体験学習（大潟村、干拓博物館、大潟の自然を愛する会、コガムシの会、探検クラブ）

探鳥会（日本野鳥の会秋田県支部）

大潟草原鳥獣保護区管理棟の一般開放と年3回の野鳥観察会（環境省東北環境事務所）

- ・モニタリング調査

内容：オオセッカ生息環境整備事業試験区域での継続的鳥類生息調査、同保護区と周辺の巡視および生息鳥獣の調査データの蓄積（環境省東北環境事務所）

鳥獣保護員の配置と冬期ガン・カモ生息状況定期調査、県立大学附属農場によるビオトープ水田生息生物の調査研究（秋田県）

毎月1月中旬実施「カモ科鳥類生息数定期調査」（過去26年間継続）、日々の観察情報の集積と考察、生息鳥類情報センター的活動（日本野鳥の会秋田県支部）

- ・その他

全国一斉テグスひろい（日本鳥類保護連盟）

見られる鳥

東京山手線の内側面積の2倍もある中央干拓地。承水路をはさんだ周辺も含めて見渡す限りの水田地帯である。防潮水門の先2kmは日本海の砂浜である。一見単調な風景であるが、ガンカモやシギ・チドリの重要な中継地となっている。植生環境は年々多様に変化し、生息する種数は増加している。一方、オオセッカやアジサシ類のように飛来が減った種もある。日本野鳥の会秋田県支部の調査によると、2006年末現在263種が確認されている。

| | |
|----|---|
| 留鳥 | カイツブリ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、ヤマドリ、キジ、ウミネコ、キジバト、トラフズク、フクロウ、カワセミ、アカゲラ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、イソヒヨドリ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス |
| 夏鳥 | ヨシゴイ、オオヨシゴイ、ミゾゴイ、ゴイサギ、ササゴイ、アマサギ、クロサギ、オシドリ、サシバ、チゴハヤブサ、ウズラ、クイナ、ヒクイナ、バン、オオバン、タマシギ、コチドリ、イカルチドリ、シロチドリ、ケリ、イソシギ、ヤマシギ、オオジシギ、コアジサシ、アオバト、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、ヨタ |

| | |
|----|---|
| | <p>カ、ハリオアマツバメ、アマツバメ、アリスイ、ヒバリ、ツバメ、コシアカツバメ、ビンズイ、チゴモズ、トラツグミ、クロツグミ、アカハラ、オオセッカ、コヨシキリ、オオヨシキリ、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キクイタダキ、セッカ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、コジュリン、ホオアカ、アオジ、クロジ、イカル、コムクドリ</p> |
| 冬鳥 | <p>アビ、オオハム、シロエリオオハム、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、アカエリカイツブリ、カワウ、ウミウ、サンカノゴイ、チュウサギ、コサギ、シジュウカラガン、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、オナガガモ、シマアジ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カワアイサ、オジロワシ、オオワシ、ケアシノスリ、ハイロチュウヒ、コチョウゲンボウ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、カモメ、コミミズク、キレンジャク、ヒレンジャク、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、ユキホオジロ、アトリ、マヒワ、ベニヒワ、ハギマシコ、ベニマシコ、ウソ、シメ、コクマルガラス、ミヤマガラス</p> |
| 旅鳥 | <p>メダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、タゲリ、キョウジョシギ、トウネン、ヒバリシギ、オジロトウネン、アメリカウズラシギ、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、ミユビシギ、ヘラシギ、エリマキシギ、キリアイ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、セイタカシギ、アカエリヒレアシシギ、ツバメチドリ、アジサシ、コノハズク、オオコノハズク、ショウドウツバメ、タヒバリ、サンショウクイ、ノゴマ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ノビタキ、マミチャジナイ、エゾセンニュウ、シマセンニュウ、エゾビタキ、ノジコ、ニュウナイスズメ</p> |
| 迷鳥 | <p>オオミズナギドリ、ハイイロウミツバメ、コグンカンドリ、アカガシラサギ、カラシラサギ、ムラサキサギ、コウノトリ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、コクガン、カリガネ、サカツラガン、アメリカコハクチョウ、シロハヤブサ、タンチョウ、ナベヅル、マナヅル、ソデグロヅル、ヒメクイナ、シロハラクイナ、ハジロコチドリ、ヒメハマシギ、ヨーロッパトウネン、シベリアオオハシシギ、カラフトアオアシシギ、アメリカズグロカモメ、ズグロカモメ、ハジロクロハラアジサシ、クロハラアジサシ、ウミガラス、ウミスズメ、コウミスズメ、シロフクロウ、ヤツガシラ、ツメナガセキレイ、ムネアカタヒバリ、アカモズ、オオモズ、オオカラモズ、カラアカハラ、マキノセンニュウ、コホオアカ、シマアオ</p> |

ジ、ツメナガホオジロ、ホシムクドリ、コウライウグイス、オナガ、ホシガラス

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会秋田県支部

